



# Governor's Monthly Letter

Vol.12  
2017年6月号



2016-17年度 国際ロータリー  
第2710地区 ガバナー

**田原 榮一**

GOVERNOR:Eiichi Tahara  
HIROSHIMA CENTER  
ROTARY CLUB

## 6月「ロータリー親睦活動月間」

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。

親睦は、ロータリーのDNAである「中核的価値観」の一つです。

5つの中核的価値観を行動にみますと、「先ず、私たちは、親睦を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促す。次いで、私たちは、高潔性をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方をつなぎ、多面的なアプローチで問題に取り組みます。私たちは、奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会に取り組みます。」とあります。これら中核的価値は全て、「ロータリーの四つのテスト」と「ロータリーの目的」に反映されており、これこそが「ロータリアンの土台」と見なされます。

また、立派なロータリアンを育成するためには、ロータリーの真の姿、ESSを推奨します。即ち、新会員が、先ず、ロータリーをEnjoy(会員の相互理解と信頼・親睦を深め心から楽しむ)、次いで、Study(ロータリーの哲学・理念を学ぶ)、そして、Service(職業奉仕を実践する)というESSを行動にすることにあります。会員増強と維持にESSを是非実践して頂きたいと思います。

他方、ロータリー親睦活動は、共通の職業や趣味を持つロータリアンとその配偶者、そしてローター・アクターから成る国際的なグループであり、各グループによって独自に運営されて

います。「Rotary Fellowships:Officer Directory-2014-15」によると、現在64の親睦活動グループがRIの承認を得て活動中です。その会員は、ロータリー親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、国境を越えた親睦を深め、いっそう充実したロータリーの経験を味わうことができます。

ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まつたことをきっかけに1928年に始まりました。その後、1947年には、ボートに関するロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗りました。現在、最も長く活動を行っているのが、このヨット親睦グループです。親睦活動の種類は、時を経るごとに増えましたが、その目的は今日も変わっていません。それは、親睦の下にロータリアンのつながりを築き、趣味や職業に関連した活動を楽しむ機会を提供することです。

国際ロータリーでは、親睦活動グループの結成に関する認定基準があります。即ち、少なくとも3カ国の会員を含んでおり、年に一回はニュースレターを発行し、会員と直接交流する機会を設けること、国、言葉、文化が異なる会員達が長期に活動していくための認定基準等です。理事会による承認後、親睦グループはRIから独立し、独自の規定、会費、管理体制をもって運営されることとなります。会員資格を有するのは、上記の如く、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、およびローター・アクターです。また、所属するグループから認可を受け、近くの地域や一つのメンバーが支部を作り活動しているケースもあります(ロータリーの友、2015, 6月号)。ロータリー親睦活動に参加希望されるクラブ、或いはロータリアンは、RIウェブサイトの関連ページ※1より、現在RIの認定を受けている親睦活動グループと連絡先が記された名簿を参考に、各グループに直接お問い合わせください。

※1([www.rotary.org/ja/our-programs/more-fellowships](http://www.rotary.org/ja/our-programs/more-fellowships))



人類に奉仕するロータリー



## contents

ガバナーメッセージ	1
「ロータリー親睦活動月間」に寄せて	2
G5 IM(インターナショナルミーティング)報告	3
G12 IM(インターナショナルミーティング)報告	3~4
RLIパート2報告書	4
RI第3690地区(韓国)地区大会報告	5

[ガバナー月信2017年6月号]

ローター・アクター第40回年次大会報告	6
会員増減・出席率	7
がん予防コラム	7
新会員紹介/物故者への哀悼	8
ロータリー文庫	8



## 「ロータリー親睦活動月間」に寄せて

国際ロータリー第2710地区 パストガバナー

諏訪 昭登

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。日本のロータリアンは、この特別月間をクラブにおける一般的親睦活動と混同、誤解して、本来の意味を理解していない方が大多数のように思います。

ロータリーの基盤は親睦(Fellowship)と奉仕(Service)にあって両者を結びつけるのが寛容(Toleration)だと創設者ポール・ハリスが語っています。両者は両輪として直進し、最初の動力伝達は親睦からとの言葉も残しております。親睦は意義あるロータリー活動の原動力であることを認識しながら、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、共通の関心を持つ人々が広く世界に友情と親交の輪を拡げることを目的とする全ロータリアン対象の「ロータリー親睦活動」があることを周知されたく思います。この特別な意味を持つ「ロータリー親睦活動」はクラブ奉仕ではなく、もともとRIの国際奉仕部門における常設プログラムでした。

国際奉仕というと、ともすれば従来の世界社会奉仕(WCS)に代表される人道的ボランティア活動であるかのように思われる傾向があります。しかしながら、国際奉仕は「ロータリーの目的」第4項の表現を借りれば“奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること”とあるように、「ロータリー親睦活動」は現在でもその一環であります。

1928年に結成されたエスペラント語親睦グループから始まり、多くのグループが世界親睦活動(World Fellowships Activities=WFA)という名で活動を続け、1970年にはRIの構成(のち常設)プログラムとなりました。1989年には共通の職業を持つ「国際職業連絡グループ(International Vocational Contact Group=IVCG)」が試験的プログラムとして発足し、1993年には先の親睦活動グループと統合され「ロータリー趣味・職業別親睦活動(Rotary Recreational and Vocational Fellowship = RRVF)」となりました。2000年10月、RI理事会は6月を「ロータリー趣味・職業別親睦活動月間」として特別月間と位置づけました。

2001年6月理事会では、保健医療問題に关心を持つ親睦活動とボランティア活動を加えて、新たに「ロータリー親睦活動(Rotary Fellowship=RF)」と名付け、2002年1月1日から有効として月間名も「ロータリー親睦活動月間」と改称しました。しかしながら、これは趣味についての同好会的活動、職業別の同業者の活動、そして目的別のボランティア活動という、性格の異なる3つの組織が、ひとつの「ロータリー親睦活

動」の枠に入れられていることでもありました。

2005年理事会はその見直しを計り、新しい発想のもとに「世界ネットワーク活動グループ(Global Networking Groups=GNG)」の名称のもとに「ロータリー親睦活動(RF)」と「ロータリアン行動グループ(Rotarian Action Groups=RAG)」を設定することとしました。このうちRAGはその職業的専門性を生かして国際的ベースで地域社会の発展と人道的奉仕プロジェクトの計画、実施においてクラブ、地区その他にあらゆる支援を提供する目的で組織化されたロータリアン個人のグループと定義されています(ロータリー章典42条参照)。なお付記しておくと職業奉仕解釈の変化を反映して、両グループを統括する「世界ネットワーク活動グループ(RNG)委員会」には上記二グループ委員のほか職業奉仕関係の委員も加わっています。そして現在は「ロータリープログラム」(章典41条)に続いて、独立した「世界ネットワーク活動グループ」(同42条)として掲載され、国際奉仕関係のみならずその重要性をアピールしています。

2015年から大きく変わった特別月間でも「ロータリー親睦活動月間」が従来通りの6月に残されたのは、2017年初頭、「ロータリー親睦活動(RF)」は70近いグループがRIの「世界ネットワーク活動グループ」に「ロータリアン行動グループ(約40グループ)」と共に登録されて活躍しているからでしょう。

日本ではその数は少なく、ヨット、団碁、切手収集、ランニングとフィットネス(IFRFR・広島西RC)などがあり、趣味とレクリエーションによりそれぞれの目的は異なっていても、すべてのグループが同じ哲学や根底にある思想すなわちロータリーの精神を共有して、世界的規模で活動しております。世界的に新たな友情を育み奉仕の機会を増進するために、ロータリアンとその家族、ロータリープログラムの参加者や学友のために組織されているのであります。概して内弁慶体質の日本のロータリーは、世界のロータリーの一員たる自覚を高めていくことが取り残されないためには大切なことに思えます。

会員の皆様も「ロータリー親睦活動」(RF)についてRIのウェブサイトでご覧になつたり、国際大会に出展している多くの親睦活動グループのブースなどでその活動を見て、仲間を世界中に見つけて楽しんでみませんか!そのことがロータリーの目指す国際理解、親善そして平和に大きな貢献になることと思います。

親睦はロータリーの雰囲気の中ですますます深まる。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。(ポール・ハリス)



## G5 IM(インターナシティーミーティング)報告

2016-17年度国際ロータリー第2710地区 G5ガバナー補佐

村上 雅典



G5のIMは、3月25日、岩国ロータリークラブ主管により、「ロータリー財団100周年を記念」して、岩国国際観光ホテルにおいて開催されました。

IMのテーマは、今年度ガバナーの重点方針の1つであります「がん予防の普及推進」に伴い「がん予防の取り組み方」としました。当日は、226名の登録の下午後1時より、名誉会員でもあります福田良彦市長からご祝辞を賜わるなど、開会セレモニーが開始されました。

基調講演は、広島平和クリニック院長 廣川裕先生に「がん検診のすすめ：がんで死なないために!」を演題にお話しして頂きました。内容は極めて分かり易く、プロジェクトを使ってのお話は、我々医療を知らないものにも分かり易く、がんに対する考え方の一皮むけたようでした。

続いて、地区がん予防推進委員の藤本俊文さんより、山口県のがん予防の取り組みと、現状と今後についての説明を受け、パネルディスカッションが開始されました。引き続き藤本委員にもコメントーターとして、また、講師の廣川先生にもご参加いただき、岩国・柳井の5クラブから、がん予防委員会メンバー5名がパネリストとして登壇し、これまでの「各クラブにおけるがん予防委員会の取り組み方」を発表して頂きました。各クラブともガバナーの重点方針が浸透し、会員の意識調査や、小中高校で出前講演、ホテル例会場の喫煙ルームを設置してもらう等々、真剣に取り組んで活動しておられました。

懇親会では、岩国出身のジャズシンガーの歌で幕開けし、楽しく懇親を深め会員相互の交流を図り有意義なIMとなりました。



## G12 IM(インターナシティーミーティング)報告

2016-17年度国際ロータリー第2710地区 G12ガバナー補佐

小田 大治

2017年3月26日グランラセーレ平安閣においてG12IM(5クラブ)を開催致しました。



国際ロータリー第2710地区ガバナー田原榮一様、パストガバナー前田茂様、次年度ガバナー補佐明山晃映様、G12各4クラブ会長様(東城RC若林弘孝様、吉舎RC金子昌平様、三次中央RC中島清祐様、庄原RC福歳年行様)をお招き致し、盛大の中にも厳かに開会致しました。

本年度のテーマは人類の最大の敵「がん撲滅」ということですから、華美にならないようにさりとて寂しくならないように基本に立ち返って「シンプルに」を念頭に置きながら、中川筆之IM実行委員長を中心とし、検討を重ねました。

第一部は国際ロータリー第2710地区G12特別委員である



# 2016-17 ROTARY INTERNATIONAL District2710

## Governor's Monthly Letter

三次市立三次中央病院院長 中西敏夫様の計らいによって、同病院呼吸器内科医長 粟屋禎一様による「がんで死なないために」(予防と早期発見)をテーマにした基調講演を開催致しました。医学的な知識もない私達にも理解できるように説明に配慮された講演でした。



休憩をはさんで(休憩場所には様々ながんについてのパネル展示)第二部は「がん撲滅フォーラムinG12」(人類の最大の敵である“がん”的予防推進に向けて)、各5クラブから1件計5件の活動発表・体験発表(東城RC日傳晶夫様「がん予防とロータリークラブ」・吉舎RC三浦誠司様「当クラブにおけるがん及び生活習慣予防への取り組みについて」・三次中央RC大井睦子様「本年度取り組んだがん予防について」「三次中央RCが行ってきた健康に関する取り組みの歴史」・庄原RC中間幸子様「がんは私の人生を変えた・三次

RC灘岡直隆様「がん予防と当クラブの取り組みについて」が行われました。佐々木智コーディネーター(三次RC)が適切なコメントを交え進行されました。各クラブの発表は体験からくるものが多く聴衆者の心に響く素晴らしい発表でした。

懇親会は、国内数々のコンクールの受賞歴のある市立塙町中学校1年生 花山望叶さんによる箏曲演奏(東京浜離宮ホールにて演奏)をはじめ、試食会を開催し「飲と食」にこだわったメニュー等シンプルの意味を再考させるIMでした。



最後は手に手つないでは勿論ですが、三次RCの締めは天野芳明会員による「わっしょいコール」(前日のガバナー杯呉二河球場で負傷／実は痛風でした)で三次の桜のように華々しく締めを行いました。



### RLIパート2報告書

2017-18年度国際ロータリー第2710地区 地区研修リーダー

**沖田 哲義**

<b>開催日時</b>	平成29年4月9日(日) AM10:00～PM5:45
<b>開催場所</b>	広島YMCA国際文化センター
<b>出席者</b>	登録者=71名 当日出席者=69名 関係者=25名
<b>内 容</b>	分科会①「戦略計画とクラブの分析」 →リーダーシップ 分科会②「米山記念奨学事業」→サービス(奉仕) 分科会③「会員を惹き付ける」 →メンバーシップ(会員組織強化) 分科会④「ロータリー財団II 目標とする奉仕」 →奉仕 分科会⑤「チーム作り/クラブコミュニケーション」 →リーダーシップ 分科会⑥「強いクラブを創る」→会員組織強化

**感 想** RLIは、3本の柱(①リーダーシップ、②サービス、③メンバーシップ)で支えられた3階建て(1階=パート1=「ロータリアンとしての私」、2階=パート2=「私たちのクラブ」、3階=パート3=「私のロータリーの旅」)の家です。本日は、このうちのパート2であり、上記のような6つの分科会が設定されました。

パート2は、パート1より更に掘り下げた内容になっているためか、参加者は大変苦労されていたようでした。しかし、逆にディスカッション・リーダー(DL)の方は、パート1を経験したお陰で、大変スムーズかつテキパキとリードされていました。



## 2016-17年度 韓国RI3690地区 地区大会報告

2016-17年度国際ロータリー第2710地区 国際奉仕委員長 城本 健司

2017年4月21日(金)、22日(土)に国際ロータリー第3690地区の地区大会が韓国仁川市のホテルで開催され、田原ガバナーに随行して参加致しました。

初日は仁川市松島地区にあるラマダ松島ホテルにてRI会長代理主催の歓迎晩餐会が催され、我々はこの晩餐会から参加致しましたが、300名近い出席者の盛大な晩餐会で田原ガバナーが祝辞を述べられました。



続いて行われた日韓交流会「2710地区との友情の時間」に先だって、韓国RI3690地区と第2710地区との姉妹提携契約の更新の調印式を行いました。今後さらに3年間提携関係が続くこととなりました。日韓交流の時間では記念品の交換や余興で交友を深めました。



2日目は、場所を松島グローバル・ユニバーシティ・キャンパス(SGUC)に移して、約1400名の参加者で地区大会が盛大に行なわれました。日本からのみならず、タイの姉妹地区RI3330地区から14名、フィリピンの姉妹地区RI3850地区から9名の参加者があり、インターナショナルな総会でした。



RI会長代理と盧総裁を壇上にお迎えして、開会宣言と点鐘に続いて、日、泰、比、韓各国の国家斉唱、4つのテスト唱和、ロータリーソング斉唱、RI会長代理の紹介、来賓紹介、地区大会実行委員長による歓迎の挨拶、盧総裁の挨拶、RI会長代理の挨拶の後

に、田原ガバナーが祝辞を英語で述べられ、地区大会の登録報告やRI財団の報告、地区大会決議文採択報告の後、皆で記念撮影を行って、地区大会は幕を閉じました。

第2710地区からは最近の朝鮮半島の緊張と翌日に地区研修会・協議会が予定されていることから今回の韓国RI3690地区の地区大会への参加者が6名と少なかったのが残念ですが、その参加者の中には15年連続で参加されておられる方や昔受け入れた米山奨学生とそのご家族と韓国で再会した方もおられ、個人的に日韓の友好を図り交友を深めておられる方もおられ感動致しました。

また、地区大会では韓国RI3690地区内で新たに創設されたロータリークラブの紹介があり、地区の活性化が図られていました。さらにRI財団の寄付金目標が\$900,000ドルと高い目標を掲げており、RI財団に対する意識の高さを感じました。

フィリピンのRI3850地区のロータリークラブとの共同プロジェクトでは、フィリピンの若者に職業に就かせる支援をする為、自動車整備関連の教師の教育と自動車部品の機材支援等を行い、優秀な教師8名を今回の地区大会に招待し表彰しておられました。地区単位でインターナショナルな共同プロジェクトを行っていることは印象的でした。

私自身は韓国RI3690地区の地区大会に初めて参加させて頂きましたが、地区大会の運営方法、地区単位での海外のロータリークラブと共同プロジェクト、海外のロータリークラブとの姉妹提携、そして個人のロータリアン・レベルでの親交等とても勉強になりました。

来年度は第2710地区からより多くのロータリアンにご参加頂いて、日韓の友好関係を深めて頂くと共に、他の国や他の地区的ロータリアンの活動を直接聞いて今後の自らのロータリー活動に反映して頂ければと思います。





## ローターアクト第40回年次大会報告

2016-17年度 国際ロータリー第2710地区 ローターアクト代表 神田 大

4月1日(土)～2日(日)に、国際ロータリー第2710地区ローターアクト第40回年次大会を広島県呉市にて開催いたしました。大会テーマは『circle of life』とし、組織運営や引継ぎ、会を継続していくことの大切さをテーマに込めさせていただきました。大会には呉市長、田原ガバナーを始め、多くのロータリアンと地区内外より多くのローターアクターにも参加していただきました。

歴代代表が一番緊張すると言っていた参加者紹介と地区代表挨拶では、これまでの人生で一番緊張し、頭が真っ白になり、念のため用意していたメモも白紙にみえるほどでした。130名弱の参加を頂き、盛大に開会できたことと無事終わったことで安心しきっています。

記念講演では、呉地方総監の池太郎様にご講演いただき、海上自衛隊呉地方総監部の現状について、自衛隊の組織図や、地方総監の決定権など、細部にまでお話をいただきました。加えて池総監の国防に対する信念も伺うことができ、旧日本海軍時代から軍港として栄えた呉ならではの貴重な講演になったのではないでしょうか。

年次大会は、ロータリーの地区大会に当たります。地区内6クラブの活動報告も、各クラブの色が濃くでた報告となり、クラブ間での情報共有や今後の課題など、新しいことにチャレンジしていかなければいけないなと思いました。各クラブが会員減少や会員の獲得に苦しんでいますが、当地区に新クラブ設立の動きがあることは、私たち既存クラブのローターアクターにとって、良い刺激となり、新たな仲間とのつながりを楽しみにしています。また、これを機に既存クラブを提倡しているロータリークラブの皆様には、今一度ローターアクトとのつながりを見直してほしいと共に、ローターアクトがロータリーをもっともっと頼ろうと思いました。

懇親会では、『和ロック』という和太鼓のパフォーマンスでお迎えし、和太鼓の音が響く中での乾杯となりました。全国から多くのアクターが参加してくれ、地区内外共に交友の輪を広げられたのでは

ないでしょうか。懇親会の後は二次会、三次会、四次会と楽しい呉の夜を楽しみました。



二日目のメインプログラムでは、ホストクラブのみんなが宇宙戦艦ヤマトのコスチュームを着てはじめました。今回のプログラムは、ローターアクトの知名度を上げることと、会員減少をなんとか食い止めたいという思いを具現化するためのプログラムでした。各グループにローターアクト物語のあらすじを題材に寸劇をしてもらい、それをムービーにしてSNSを通じ拡散するというものです。各グループには、雑なあらすじだけを渡したにも関わらず、とてもよくあるアクト風景を作りだしてもらいました。現在もまだ編集作業をしていますので、完成したら改めてご報告させていただきます。

思い返せば準備期間から当日までがあつと言う間だったように感じます。国際ロータリー第2710地区ローターアクト第40回年次大会を盛会に行えましたことに心より感謝申し上げます。ガバナーをはじめ、ご協力いただきましたロータリーの皆様、そしてローターアクトのみんな、本当にありがとうございました。



## 【国際ロータリー第2710地区 2016-17年度会員増減・出席率(2017年4月度)】

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					グループ	クラブ名	平均出席率	会員数					グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会				年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会				年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会
1	長門	87.73	27	26	4	1	2	5	岩国	79.29	61	63	0	7	5	9	広島空港	81.52	24	27	3	4	1
	下関	81.91	50	49	1	3	4		岩国中央	89.29	42	44	3	4	2		因島	92.47	20	19	0	0	1
	下関中央	81.09	31	30	6	1	2		岩国西	84.96	59	59	4	3	3		三原	88.87	58	58	0	3	3
	下関東	78.66	55	56	2	5	4		柳井	100.00	33	33	2	0	0		尾道	84.04	79	78	2	4	5
	下関北	93.04	42	43	0	4	3		柳井西	95.72	27	27	2	1	1		尾道東	89.69	49	53	3	4	0
	下関西	87.59	35	35	1	0	0		計	89.85	222	226	11	15	11		瀬戸田	83.30	6	6	0	0	0
計			85.00	240	239	14	14	15	広島	99.15	119	117	2	15	17	竹原	91.11	36	35	4	0	1	
2	萩	95.94	54	56	0	2	0	6	広島安芸	95.14	39	41	2	2	0	10	計	87.29	272	276	12	15	11
	萩東	96.76	20	22	1	2	0		広島安佐	91.40	24	24	2	3	3		府中	83.04	29	28	0	0	1
	美祢	83.42	23	25	0	6	4		広島東	98.47	99	101	6	8	6		福山	97.09	79	77	0	6	8
	小野田	79.77	35	39	2	5	1		広島北	99.97	86	90	0	11	7		福山東	80.73	50	49	2	1	2
	宇部	93.32	46	46	3	2	2		広島陵北	97.15	52	51	3	2	3		福山丸之内	97.32	33	32	1	0	1
	宇部東	70.03	14	14	1	0	0		大竹	87.20	33	32	0	3	4		鞆の浦	85.35	24	24	0	1	1
	宇部西	86.66	55	54	3	2	3		計	95.50	452	456	15	44	40		福山PEC2710**	100.00	21	23	4	3	1
計			86.56	247	256	10	19	10	広島中央	100.00	79	78	7	2	3	計	90.59	236	233	7	11	14	
3	防府	97.79	54	58	0	5	1	7	広島廿日市	86.95	36	35	1	1	2	11	福山赤坂	80.20	46	49	7	3	0
	防府北	92.29	17	17	1	1	1		広島城南	99.37	54	48	3	3	9		福山北	94.17	44	45	0	2	1
	防府南	80.92	34	36	7	4	2		広島南	99.69	87	88	0	6	5		福山南	87.12	56	59	2	7	4
	山口	85.75	55	57	4	3	1		広島東南	100.00	95	100	13	13	8		福山西	94.43	44	42	4	2	4
	山口県央	97.89	32	32	1	1	1		広島西南	100.00	65	68	3	4	1		松永	89.74	53	53	2	1	1
	山口南	92.58	43	43	4	2	2		広島西	100.00	84	84	0	4	4		計	89.13	243	248	15	15	10
計			91.20	235	243	17	16	8	江田島	90.03	17	18	0	2	1	吉舎	99.42	17	18	0	1	0	
4	光	95.77	47	47	0	1	1	8	東広島	96.79	33	34	2	3	2	12	三次	87.43	40	42	0	2	0
	周南西	91.54	45	56	4	11	0		東広島21	79.39	16	18	4	2	0		三次中央	93.43	42	44	5	4	2
	徳山	95.89	45	49	1	6	2		吳	92.26	68	64	0	1	5		庄原	80.97	35	34	4	3	4
	徳山セントラル	92.62	26	26	0	1	1		吳東	93.80	31	32	0	1	0		東城	94.36	20	20	1	2	2
	徳山東	95.01	52	52	0	4	4		吳南	91.70	57	59	3	2	0		計	91.18	154	158	10	12	8
計			94.17	215	230	5	23	8	西条	98.27	41	40	3	2	3	第2710地区計	90.64	3279	3331	155	230	178	
計			91.75	263	265	12	13	11															

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710J」



### がん予防コラム⑥ がんの2次予防:がん検診について

地区がん予防推進委員長 藤村 欣吾

がんの5年生存率は60%に近く、半数以上が治癒し、さらに早期発見なら90%が治癒する時代です。従ってがんを早期に発見し、適切に治療を行えばがんによる不幸な事態を回避できます(早期発見・早期治療)。このためにがんの2次予防(がん検診)が重要です。がん検診はがんになる人が多くかつ死亡が多いがんが向いています。また検査が安全で精度が高いこと、発見されたがんについて治療法があるがんなどががん検診として適切です。すなわち胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん、などが相当します。がん検診のデメリットとしてがんの進み具合や、種類、検査の精度によってある程度の見逃しがあります。これを少なくするために定期的にがん検診を受ける必要があります。また偽陽性と診断されると要精密検診を指示されます。これは早期発見のためには避けられな

いことで心理的影響を受けますが、要精密検診中胃がん検診では1.8%、最も多い子宮がん検診でも4.4%が真にがんと診断されたにすぎません。むしろより詳しく検査を受けることで安心が増すと理解し積極的に検診を受けましょう。検診間隔は、肺、大腸がんは40歳以上で年1回、胃がんの内視鏡検査は50歳以上で2年に1回、乳がんは40歳以上で2年に1回、子宮頸がんは20歳以上で2年に1回と定められています。全国のがん検診受診率はがん腫によって平均9.6~31.4%と低く、これを上げがんの早期発見治療に結び付けることが急務です。

がん検診には市町村や職場で行われる「集団検診」(対策型検診)と個人が希望して受診する費用が高め、検査内容が豊富で精度も良好な「人間ドック」(任意型検診)があります。

## 新会員紹介



**藤田 敬之**  
長門RC  
2017年4月11日  
地方銀行



**楠 有弘**  
下関RC  
2017年4月24日  
百貨店



**市川 達雄**  
下関RC  
2017年4月24日  
生命保険



**山岸 晃浩**  
下関東RC  
2017年5月11日  
証券業



**阿武 周平**  
萩東RC  
2017年4月4日  
内装仕上げ工事業



**中桐 吉隆**  
美祢RC  
2017年4月1日  
セメント製造業



**波佐間 敏**  
美祢RC  
2017年4月1日  
地方行政



**三隅 淳一**  
宇部西RC  
2017年4月18日  
化学製品製造



**細見 泰弘**  
岩国RC  
2017年4月13日  
化学工業薬品製造



**舛本 行広**  
岩国RC  
2017年4月13日  
法律【弁護士】



**深川 暢也**  
岩国RC  
2017年4月27日  
建設業【プラント設備】



**稲田 博文**  
岩国中央RC  
2017年4月5日  
日本料理



**藤田 洋一**  
広島東南RC  
2017年4月10日  
総合商社



**荒木 浩幸**  
広島東南RC  
2017年4月17日  
一般乗用旅客自動車運送業



**伊藤 保**  
広島空港RC  
2017年4月5日  
ホテル



**松原 真児**  
三原RC  
2017年5月9日  
地方銀行



**萩崎 功一**  
福山RC  
2017年3月27日  
旅行業



**北村 浩司**  
福山RC  
2017年4月3日  
新聞発行



**新宮領 達也**  
福山東RC  
2017年4月5日  
クリーニング



**石川 英彦**  
福山南RC  
2017年4月13日  
生命保険



**冲土居 克己**  
三次中央RC  
2017年4月17日  
信用金庫



**鈴木 崇司**  
三次中央RC  
2017年4月17日  
冠婚葬祭業



### 文庫 通信

356号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 最近のロータリー情報から

「ロータリーと茶の心」	千 玄室	2017	4p	(D.2690地区大会記念誌)
「日本ロータリーの昔話4~7」	深川純一(伊丹R.C.)	2016	4p	(純ちゃんのコーナーPartXV)
「日本のロータリアンの使命」	塚原房樹	2016	2p	(D.2510月信)
「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」	三木 明	2016	1p	(D.2680月信)
「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」	藤林豊明	2016	2p	(D.2580地区大会記念誌)
「ロータリーの魅力とは何だろう」	富田英壽	2017	2p	(D.2700月信)
「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」	桑月 心	2017	2p	(D.2630月信)
「今までの100年・そして現在」	久世晴雅	2016	4p	(D.2680地区大会記録誌)
「会員を引き込む」	RLI日本支部	2015	3p	(RLI参加者テキスト)
「ロータリー財団を正しく理解する」	鈴木一作	2016	5p	

〔上記申込先〕ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp/ 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー  
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F  
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/